

社協 おうたき

第

82

号

令和 6年 7月15日 発行

社会福祉法人

王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曽郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033



ふれあい！
支えあい！

令和5年度事業報告・・・2～5P

令和5年度収支決算・・・6～7P

絵手紙で地域の交流

昨年の夏休みボランティア体験。
ボランティアさんを先生に、こどもたちが絵手紙に挑戦。デイサービスのお年寄りにお届けして、交流しました。(R5.8)

令和5年度おもな事業の報告



男性も張りきっています！
月に一度のお楽しみ弁当。
6グループ35名の「つくり隊」
の皆さんが腕を振ります。



◇地域福祉活動

ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 15メニュー 121名 (成人20%)

ボランティア講座 3回開催 参加者 24名

※その他、ボランティア新年交流会、お楽しみ弁当勉強会などを実施。

2. 第34回福祉・健康の集い(社会福祉大会)

『福祉・健康啓発月間』(R5.10月) 延486人

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験 3メニュー

7月24日～8月9日 参加者 23名

福祉講座

7月6日 福祉体験学習(中3) 参加者 3名

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

9月12日 中越地区サロン 参加者 13名

出張介護教室、認知症講座、懇談会



『エコ』ボランティア

ボランティア養成講座では、おが屑と米のりを再利用して、環境にやさしいエコプラントづくりチャレンジしました。



思い出がいっぱい！
どんぐり広場の親子交流会では、恒例のパネルづくりにも子どもたちが挑戦。



◇地域福祉サービス

	実施回数	利用者	延利用者数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	4組5名	42人 (+2人)
2 ミニ児童館	243日	19名	193人 (+32人)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	20名	178人 (+7人)
4 お楽しみ弁当	14回	44名	495人 (+8人)
5 ごたくらぶ	12回	9名	61人 (±0人)
6 会食会	1回	57名	- (△11名)
7 障がい者希望の旅	1回	7名	- (△4名)
8 障がい者交流会	1回	8名	- (±0人)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 人 (- 人)



◇生活資金貸付事業

1. 暮らし資金(独自事業)

貸付件数/残高 1件 (210,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

2. 生活福祉資金(県社協受託)

貸付件数/残高 1件 (-円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件



☆広めよう!「支え合い活動」の輪

昨年度も、大勢の地域の皆さまに福祉事業を支えていただき、また、地域での自主的な支え合い活動をされる「支え合い会員」の方と合わせ、成人の20%に当たる皆さんがボランティア登録をされています。現在、登録者の4割に当たる方が75歳以上となられていますが、少しでも若い世代の皆さまにも、こうした支え合い活動の輪が広まることを願っています。



地域の皆さんのデイサービス
9月の敬老イベントのひとつ。ボランティアさんによる紙芝居劇場です。



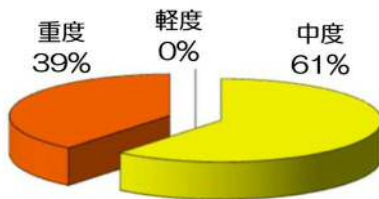
◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用者数
1 居宅介護支援事業	243日	34名 ◎新規 8名	314人
2 通所介護(デイサービス)	256日	24名 ◎新規 5名	1,846人
3 訪問介護(ホームヘルプ)	308日	13名 ◎新規 5名	2,051人
4 障がい者ホームヘルプ	308日	1名 ◎新規 1名	28人
移動支援サービス		1名	32人

＜居宅介護支援事業＞

介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

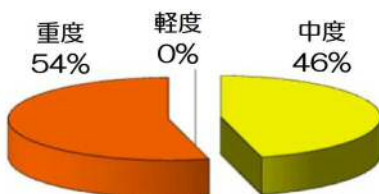
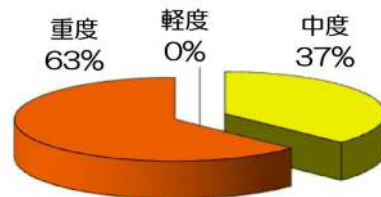
	5年度	4年度	増減
軽度	- 件	- 件	- 件
中度	191件	190件	+1件
重度	123件	126件	△3件
合計	314件	316件	△2件



＜デイサービス＞

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 7.2人(△1.0人)

	5年度	4年度	増減
軽度	- 人	- 人	- 人
中度	685人	979人	△294人
重度	1,161人	1,118人	+43人
合計	1,846人	2,097人	△251人



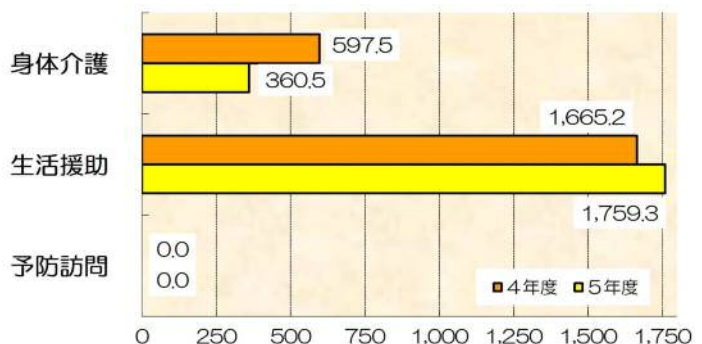
＜ホームヘルプサービス＞

介護状態別利用状況(延回数)

	5年度	4年度	増減
軽度	- 回	- 回	- 回
中度	942回	1,599回	△657回
重度	1,109回	821回	+288回
合計	2,051回	2,420回	△369回

◎延訪問時間 2,120H(前年度比△143H)

※1回当たり訪問時間(平均) 62分(前年度比110%)



☆介護サービス利用者が減少

介護サービスの月平均の利用者は、通所で△21人(△12%)、訪問で△31人(△15%)と減少。年度途中のサービス終了者の影響などによるもので、増減を繰り返す不安定な状況となっています。

☆訪問は身体介護が大幅に減少

訪問サービスでは、身体介護の利用時間が前年度比△40%と大幅に減少。生活援助の比率が非常に高くなっており、1回当たりの訪問時間が+10%の増加となった一方、1回当たりの報酬単価は△10%の減少(※生活援助は身体介護の約1/2の単価)となり、事業収入の減少により、経営的には大変厳しい状況が続いています。

＜障がい者ホームヘルプ＞ ※移動支援サービス含む

	5年度	4年度	増減
◎延訪問回数	60回	28回	+32回
◎延訪問時間	97.5H	51.0H	+46.5H



◇介護予防・生活支援事業

☆配食サービス利用者が減少

配食サービスの利用食数は、月平均で△67食（△14％）の減少となりました。25名の方にご利用いただきましたが、月平均の利用食数は20食と、毎日型のご利用が大勢を占めており、実人数の増減により、利用食数が大幅に変動する現状となっています。

☆介護教室参加者増える

介護教室は、年5回の開催をさせていただき、昨年度は、参加者が大幅に増加しました。身近なお薬の話題や、認知症についての講座に高い関心がうかがわれました。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用者数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	6名	52人 (△13人)
2 配食サービス	486回	25名	4,767人 (△803人)
3 生活支援訪問サービス	119日	18名	198人 (△63人)
① 介護予防ホームヘルプ	-	2名	55人 (+51人)
② 生活支援ホームヘルプ	-	16名	143人 (△114人)
4 介護教室	5回	46名	70人 (+30人)
5 介護者リフレッシュ	4回	20名	27人 (+13人)
6 外出支援サービス	189日	39名	621人 (△25人)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	23名	54人 (△8人)
8 心配ごと相談所	15回	-	7人 (±0人)

R5認知症安心ネットワーク事業

- (1) 認知症地域支援推進員 1名(兼任)
推進委員研修(新任) 1名
- (2) 相談支援体制の整備
 - ① 介護・認知症相談(年2回)
 - ② 認知症に関する情報提供&認知症講座(年2回)
 - ③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)
- (3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり
- (4) 介護職員の資質向上、在宅介護相談の充実



◇生活支援ハウス運営事業

入居者4世帯5名(366日 24時間営業)

☆新規入居 1世帯(1名) ☆退所 2世帯(2名)



R5生活支援ネットワーク事業

- (1) 生活支援ネットワーク会議(運営委員14名)
6月29日・・・令和5年度推進計画他
- (2) 地域支え合い推進会議(推進委員26名)
第1回 6月29日・・・令和5年度推進目標他
☆専門委員会 1回開催
 - ① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援
- (3) 生活支援コーディネーター 1名(兼任)
- (4) 体制整備に関する諸事業
 - ① 地域支え合い研修&支援者養成講習
『生きがいをもって暮らすコツ〜学ぼう! 語ろう! 支え合い〜』 10月25日 参加者17名
☆支援者養成講座 7月21日 8月2日 参加者14名
『自然にやさしいエコプランター』づくり
 - ② ボランティア活動支援&支援活動の需給調整
社協「地域支え合い会員」登録者121名
 - ③ ニーズ調査活動
生活支援ニーズの聞き取り調査等
 - ④ 広報紙による情報周知
 - ⑤ その他の事業企画 (参加者 延54人)
 - ・遊休農地を活用した花畑&王滝かぶづくり
 - ・自主サロン活動支援 4団体 計10回(参加者 延76人) ※共同募金公募補助金活用 3団体
 - ・地域間協働による支え合い活動の課題検討(年2回)

『生きがい』をもって暮らすコツ

支え合い研修では、県内、郡内の活動を発表いただき、豊かな地域での暮らしについてともに語り合いました。

緑に癒されリフレッシュ！
昨年6月のリフレッシュ事業では、アトコけ玉づくりにチャレンジ。



便利なグッズを紹介
介護教室で便利な福祉用具や介護用品を紹介。熱心に耳を傾けられる皆さん。

季節の行事

◇令和5年度事業の風景◇

ふれあい元気づくり教室
夏でも元気いっぱい！―柘植先生の体操教室。



7月31日

テイサービス
ふるさとの季節の味覚。やっばり、ほっちは巻きます！



6月19日



9月26日

希望の旅
初秋の上田市方面へ日帰り旅行に出かけました。



8月21日

いきいきサロン
夏の田の原天然高原。大黒天に健康と長寿を祈念しました。

福祉大会「記念講演
弁護士大胡田誠先生のお話に、心を打たれ、勇気もらいました。



10月21日

「長寿カップ」競技大会
こたへらぶと王寿会共催の競技会で、皆さん腕をふるいます。



10月13日



1月18日

ひとり暮らしようまい会
「今年もまめでやうまい！」と、新年交流会で料理に舌鼓。



12月26日

お楽しみ弁当
12月恒例の、ひと足早い「お節料理」。御馳走がいっぱい！

会食会
4年振りの会場での会食となった会食会。演芸やゲームを楽しみ、和気あいあいと回らん。
みなさまのご理解と協力、いつもありがとうございます。



2月17日



令和5年度一般会計決算

“収入減で当期収支が大幅に悪化”

歳入合計 75,847,257円
歳出合計 75,526,652円
差引残高 320,605円



令和5年度の収支決算は、前年度とほぼ同水準の決算総額となりました。

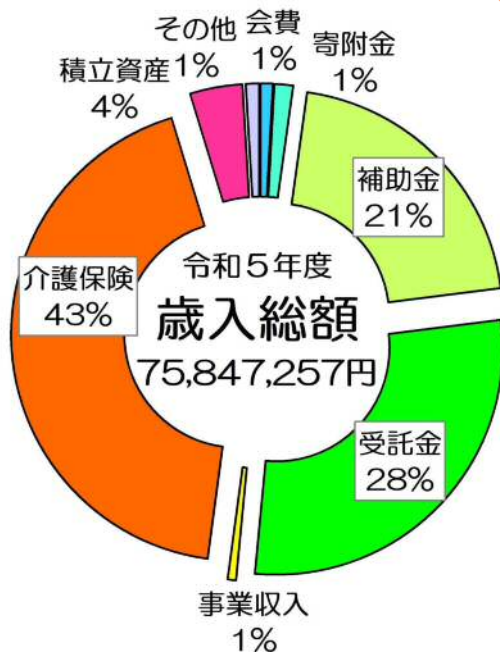
歳入面では、介護保険収入が利用者の減少により、前年度比△三六五万円（△10％）と大幅に減少。相談支援体制強化事業に係る新たな補助金事業収入もありましたが、当期活動の収支差額は前年度比△四一一万円の赤字決算となり、大幅に収支状況が悪化しました。

また、歳出面では、外出支援サービスで送迎用車両をリース更新したことにより、介護予防・生活支援事業の事業費が前年度比十七％の増加となっています。

財政面では、固定資産更新のための積立資産を目的外に取崩し、運営費の補填に充当しました。主に介護保険サービスの収支状況悪化に伴う運営補填額ですが、介護保険事業では、令和4年度から、施設光熱水費の減免や委託事業での専門職員人件費の一部確保による支援を受けており、それらを加味すると△七五〇万円程度の収支マイナスの状況で、大変厳しい運営状況が続いています。

歳入

（単位：円）



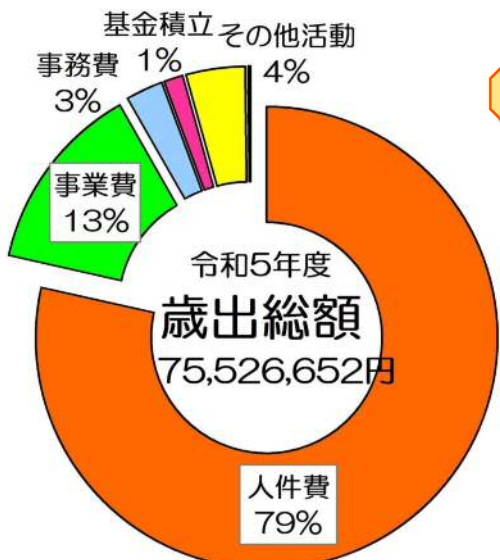
	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	652,000	722,000	△70,000
2 寄附金	1,007,300	50,000	957,300
3 補助金	15,785,312	14,528,793	1,256,519
4 受託金	21,626,979	22,920,111	△1,293,132
5 貸付事業収入	80,000	120,000	△40,000
6 事業収入	452,400	456,600	△4,200
7 介護保険事業収入	32,752,042	36,401,987	△3,649,945
8 障害サービス収入	380,800	194,600	186,200
9 基金・積立金取崩	2,835,279	0	2,835,279
10 前期繰越金	244,259	314,898	△70,639
11 その他	30,886	4,275	26,611
合計	75,847,257	75,713,264	133,993

※「補助金」は共同募金配分金収入(426,312円)、及び相談支援体制強化事業補助金(1,398,000円)他を含む。

※「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

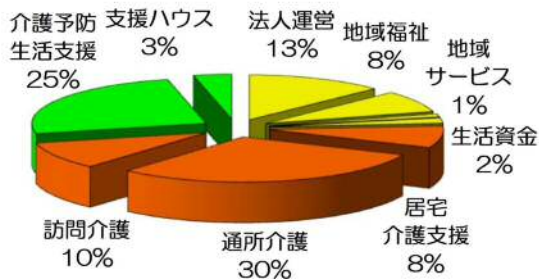
歳出

（単位：円）



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	59,279,327	58,574,385	704,942
2 事業費	10,015,873	10,105,778	△89,905
3 事務費	1,963,899	2,029,581	△65,682
4 固定資産取得支出	0	198,000	△198,000
5 その他の活動支出	3,124,746	3,082,075	42,671
6 基金・積立金積立	1,082,807	1,307,186	△224,379
7 その他	60,000	52,000	8,000
合計	75,526,652	75,349,005	177,647

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会 ⑥福祉活動の促進・支援等

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ
⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計234,300円 (対事業費 31%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計1,846,250円 (対事業費 57%)
⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計5事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位: 円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	17,900,152	17,517,578	382,574
1 法人運営事業	9,701,618	8,957,206	744,412
2 地域福祉推進事業	5,894,862	5,749,786	145,076
3 地域福祉サービス	870,660	860,576	10,084
4 生活資金貸付事業	1,433,012	1,950,010	△516,998
2 介護保険サービス	35,948,121	36,778,916	△830,795
1 居宅介護支援事業	5,921,859	5,587,352	334,507
2 通所介護事業	22,624,518	23,523,674	△899,156
3 訪問介護事業	7,401,744	7,667,890	△266,146
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	21,678,379	21,052,511	625,868
1 介護予防・生活支援事業	19,002,379	18,386,611	615,768
2 生活支援ハウス運営事業	2,676,000	2,665,900	10,100
合計	75,526,652	75,349,005	177,647

※ 法人運営事業は、基金組入額(1,007,300円)を含む。

※ 生活資金貸付事業は、相談支援体制強化事業に係る事業費を含む。

介護保険事業の収支

(単位: 円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合 計
歳出決算額 a	5,921,859	22,624,518	7,326,249	35,872,626
介護保険事業収入 b	4,376,510	21,394,588	7,361,744	33,132,842
その他の収入 c	20,000	120,000	40,000	180,000
差引過不足額 (b+c)-a	△1,525,349	△1,109,930	75,495	△2,559,784
(他事業繰出/繰入金)	△1,525,349	1,525,349	0	±0
(固定資産積立金)	0	△2,635,279	75,495	△2,559,784
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※「介護保険事業収入」は、障害福祉サービス収入を含む。内、利用者の皆さまの利用料 計4,045,643円 (対事業費162%)
※「その他の収入」は、都道府県補助金(価格高騰対策支援金)。



R5 基金・積立金の状況

R6.3.31現在

(単位: 円)

地域福祉基金 ※地方交付税財源	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	77,739,000	◎果実運用(社会福祉事業へ)
福祉基金 ※寄附金等財源	積立額	1,007,300	一般寄附金積立額
	取崩額	0	
	残高	12,169,530	◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)
法人安定化積立金	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	0	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	積立額	75,495	車輛運搬具減価償却積立金(1台)
	取崩額	△2,835,279	運営補填取崩額(3事業充当)
	残高	9,764,110	◎消耗資産の更新準備金(8件)
暮らし資金積立金	積立額	12	預金利息積立額
	取崩額	0	
	残高	1,499,892	◎生活資金貸付事業原資

※ 令和5年度は、事業財源不足による運営補填のために固定資産積立金より(目的外取崩)、介護保険事業等(3事業)へ2,835,279円を取崩し充当しました。(当初取崩予算額3,916千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。

～令和5年度監査意見よい①～

◇社協事業の役割と危機意識の共有

民間事業者の参入のない中で、村民にとって必要とされる福祉事業の運営を存続できるよう、行政担当課をはじめとして危機意識の共有を図るとともに、将来へ向けた具体的対策の協議がより一層推進されるよう努められたい。

～令和5年度監査意見よい②～

◇実施事業の継続と福祉サービス確保

限られた人員体制の中で、各種事業の遂行に努力が認められる。細々とであっても、実施事業を継続すること自体に意義があり、引き続き、住民にとって必要とされる福祉サービスの提供が確保されるよう努められたい。

～令和5年度監査意見よい③～

◇決算の状況 ～運営財源の確保～

運営補填のための積立資産取崩を余儀なくされているが、限られた資産の取崩額抑制の努力は認められる。少しでも歳入財源を確保できるよう、資産運用の方法を再度検討するとともに、将来を見据え、社協事業に限らず村民福祉全般に活用される公共の基金の設置等に関して、村行政の役割にも期待したい。

◇令和5年度社協会員の状況

個人会員 416名 (△18名)

☆ 普及率 67% (／成人人口 620名)

法人会員 22社 (△2社)

◎年会費総額 652,000円 (△70,000円)

ともに支え合う「共助による福祉活動」

みなさまのご理解に感謝！

昨年度は、村内より多額のご寄付を頂き、少しでも皆さまのご期待にお応えできるようにと、身の引き締まる思いで受け取らせていただきました。

さて、王滝村では、伝統的に福祉活動へのご厚志への理解が深く、例えば、村の共同募金へのご協力は世帯平均1,312円と、県下トップの実績となっています。時代の変化に伴い地域のつながりが希薄化する中、かなり特筆すべき点と考えています。

高齢のみなさまや先人が培われて来られた地域の伝統を、次の世代にも引き継いで行きたいですね。

役員・委員の改選

= 監 事 =

(定数2名) ◎欠員に伴う補選 (残任期間)

(任期：令和6年4月1日

～令和7年6月定時評議員会)

栗空 里美 ～社会福祉事業識見

= デイサービスセンター運営委員 =

(定数6名以内) ◎前任者退任に伴う補選 (残任期間)

(任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

堀内 かすみ ～利用者&家族代表

藤原 陽一郎 ～保険者 (木曽広域連合)

令和5年度寄付者ご芳名 (受付順)

たいせつに使わせて頂きます！

寄付金総額 1,007,300円

一般寄付金

団体 匿名希望 様

個人 細尾 美智代 様

物品寄贈

個人 富井 聡美 様

※ この他にも、昨年毛たくさんのお手づくりの野菜や果物などの食材、使用しなくなった介護用品や日用品など、多くの頂きものがありました。(計85件) いつもありがとうございます。



昨年度、村の牧尾ダム上下流交流の一環で、愛知県武豊町の愛知用水管理区の皆さんから有機米30kgが届けられ、お楽しみ弁当などで活用させていただきました。

◇令和6年能登半島地震義援金

(R6.2～3月実施) 王滝村 & 社協

199件 460,944円

日本赤十字社を通じ、石川県ほかの被災地の皆さんにお届けしました。